

R5.10.12

令和5年度 第2回

佐世保市歯・口腔の健康づくり専門部会（子ども期・成人期）

差替資料3

目標項目の設定の考え方と整理表

(第1回)専門部会 R5.7.20(木)の会議を終えての取り纏め

- データソースの入手先は、市町村セミナーの「健康増進計画の目標のモニタリングと評価」において、「データの収集・分析を進めていくためには、収集・分析に莫大な時間や予算を費やさず、既存の資料や簡便なツール類を活用するのが効果的」と記載されていることから、本市においても、既存データ(成人歯科健診等)を使用していくこととする。
- 中間目標値については、次期計画では設置せず、最終目標値のみとする。(毎年度の実績値は従来通り出していく) 中間評価時に最終目標値への達成状況を予測し、値の修正等を検討していくこととする。

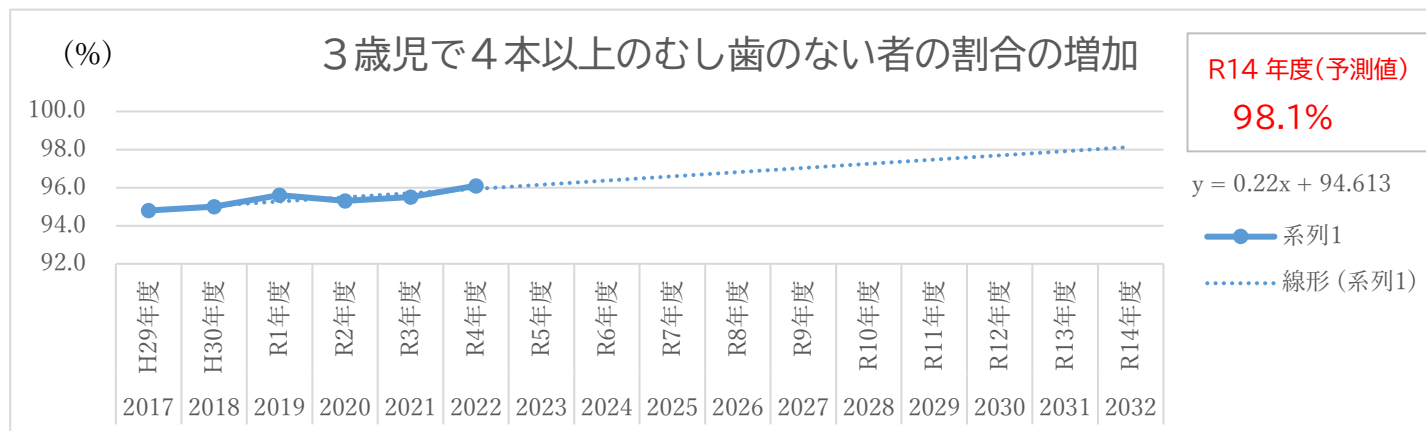
1. 歯・口腔に関する健康格差の縮小

(目標) 歯・口腔に関する健康格差の縮小

指標	① 3歳児で4本以上のむし歯のない者の割合
データソース	3歳児健康診査(母子保健法)
現状値	96.1%(R4年度実績)
ベースライン値	令和6年度地域保健・健康増進事業報告(R5年度実績)を予定
目標値	98%
目標値の考え方	直近6回(平成29年～令和4年)の3歳児健康診査(地域保健・健康増進事業報告)う蝕有病状況のデータより、4本以上のむし歯のある歯を有する者の割合を求め、直線回帰モデルによる将来推計を行ったところ、令和14年度の推計値は98.1%であったため、近似の98%を目標とした。

3歳児で4本以上のむし歯のない者の割合の増加(国の目標値:0%令和14年度(2032))過去6年間の回帰分析による推計

2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度
94.8	95.0	95.6	95.3	95.5	96.1										



$$Y = 0.22 * 16 + 94.613 = 3.520 + 94.613 = 98.133$$

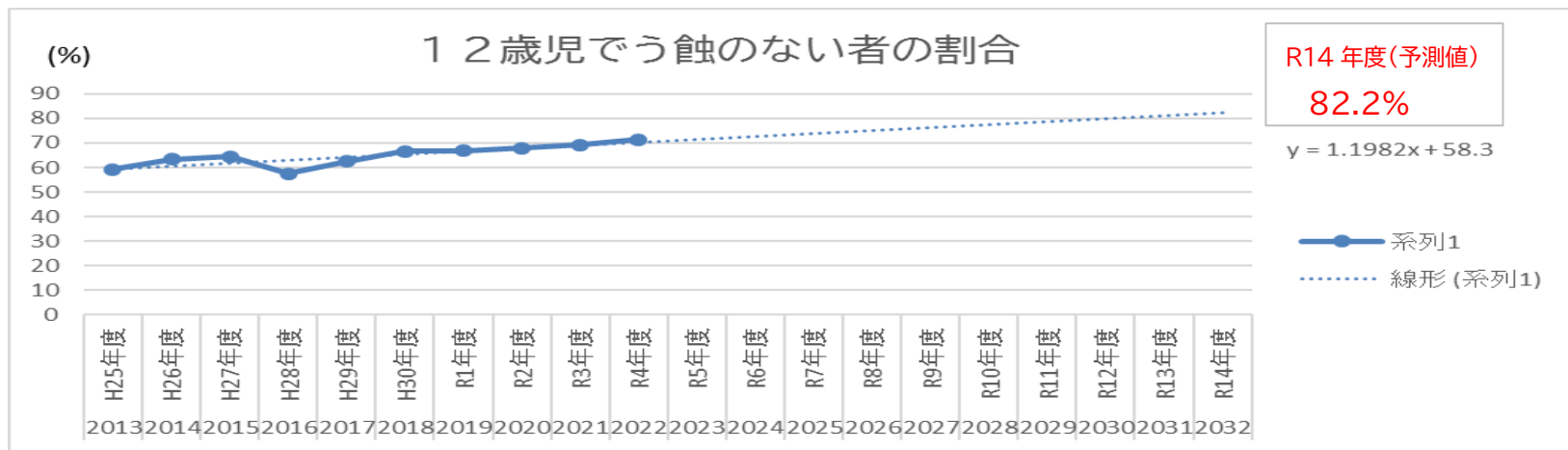
第2次 佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画(骨子案)

指標	② 12歳児でむし歯のない者の割合
データソース	佐世保市学校歯科健診
現状値	71.4%(R4 年度実績)
ベースライン値	令和5年度長崎県学校保健統計調査(R5年度実績)を予定※令和6年2月末公表
目標値	82%
目標値の考え方	直近10回(平成25年～令和4年)の学校保健統計調査における12歳児のう蝕有病状況のデータよりむし歯のない者の割合を求め、直線回帰モデルによる将来推計を行ったところ、令和14年度の推計値は82.2%であったため、近似の82%を目標とした。

12歳児でう蝕のない者(【参考】国の目標値:65%)過去10年間の回帰分析での推計

※基準値:中学校1年生

2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度
59.3	63.4	64.5	57.4	62.5	66.7	66.8	67.8	69.1	71.4										



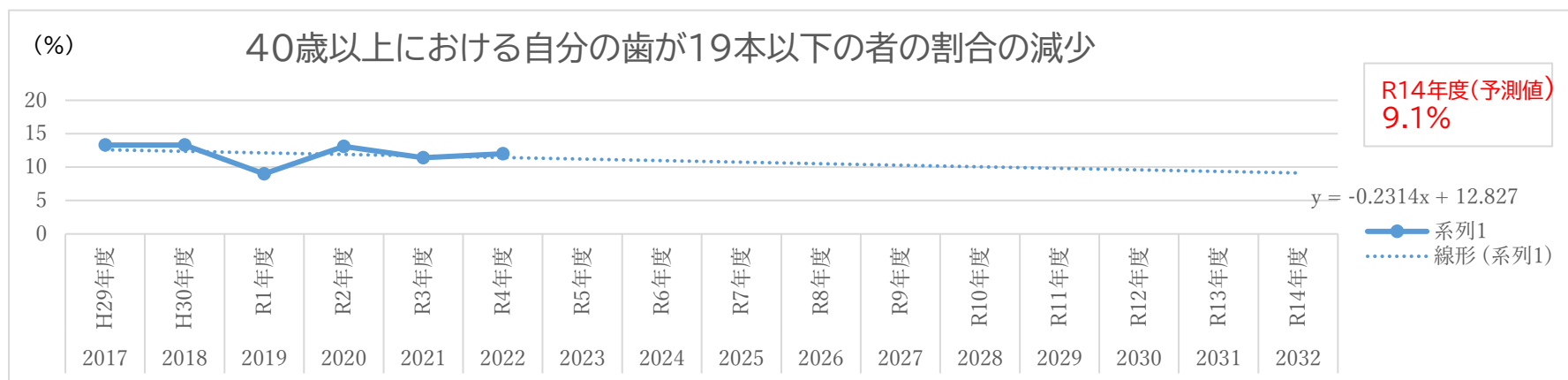
$$Y = 1.1982 * 20 + 58.2 = 23.964 + 58.2 = 82.164$$

第2次 佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画(骨子案)

指標	③ 40歳以上における自分の歯が19本以下の者の割合
データソース	佐世保市成人歯科健診、長崎県後期高齢者広域連合お口いきいき健康支援事業(R2年度～)
現状値	12.0%(R4年度実績)佐世保市成人歯科健診(40歳以上)+お口いきいき健康支援事業(75歳以上)
ベースライン値	●●%(令和6年度の佐世保市成人歯科健診+お口いきいき健康支援事業を予定)
目標値	9%
目標値の考え方	<p>【指標目標の設定】</p> <p>直近6回(平成29年度～令和4年度)の佐世保市成人歯科健診と長崎県後期高齢者広域連合お口いきいき健康支援事業(R2年度～)40歳以上の受診結果から直線回帰モデルにより将来推計を行ったところ、令和14年度の推計値は9.1%であったため、近似の10%を目標とした。</p> <p>(その他)◎取り組み状況で目安とするために参考資料として各年齢層を標記する</p>

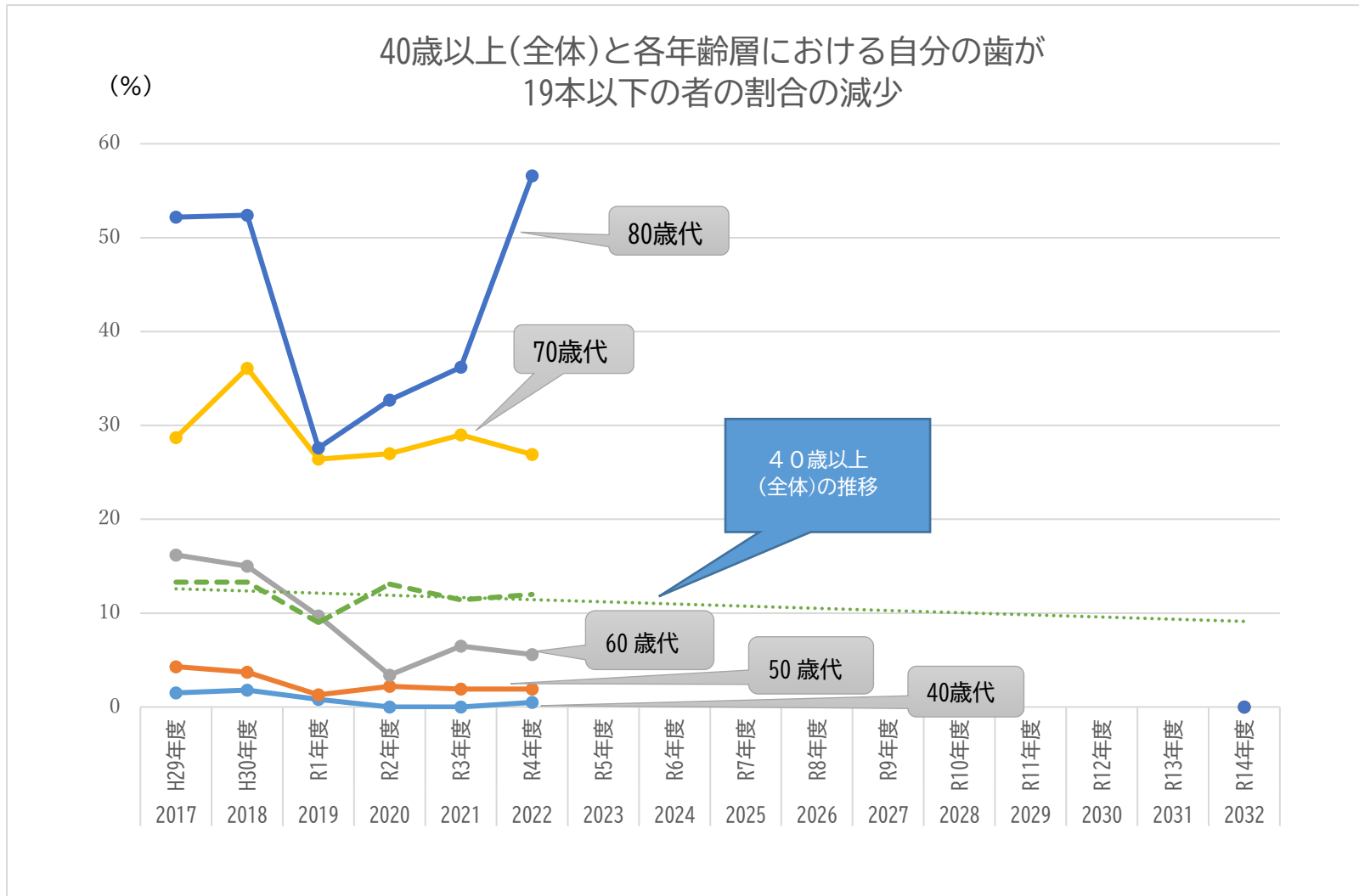
40歳以上における自分の歯が19本以下の者の割合(【参考】国の目標値:5%)

2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度
13.3	13.3	9.0	13.1	11.4	12.0										



$$Y = -0.2314X + 12.827 = -3.702 + 12.827 = 9.125$$

第2次 佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画(骨子案)



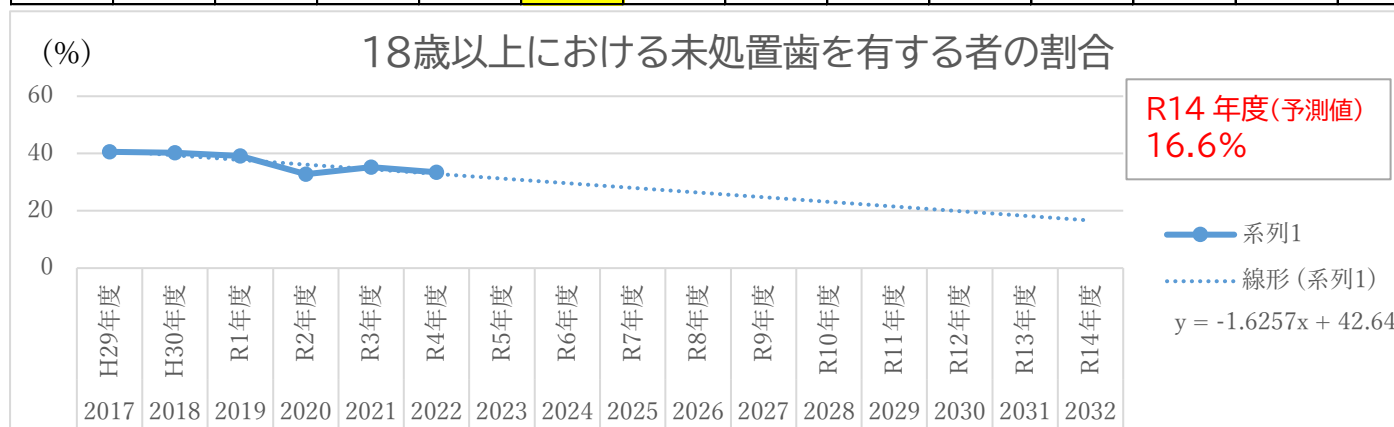
2. 歯科疾患の予防

(目標) 治療していないむし歯を有する者の減少

指標	④ 18歳以上における未処置歯を有する者
データソース	佐世保市成人歯科健診、長崎県後期高齢者広域連合お口いきいき健康支援事業(R2年度～)
現状値	37.4%(R4年度実績)佐世保市成人歯科健診(18歳以上)+お口いきいき健康支援事業(75歳以上)
ベースライン値	●●%(令和6年度の佐世保市成人歯科健診+お口いきいき健康支援事業を予定)
目標値	16%
目標値の考え方	<p>【指標目標の設定】</p> <p>直近6回(平成29年度～令和4年度)の佐世保市成人歯科健診と長崎県後期高齢者広域連合お口いきいき健康支援事業(R2年度～)18歳以上の受診結果から直線回帰モデルにより将来推計を行ったところ、令和14年度の推計値は16.6%であったため、近似の16%を目標とした。</p> <p>(その他)◎取り組み状況で目安とするために参考資料として各年齢層を標記する。</p>

18歳以上における未処置歯を有する者の割合(【参考】国の目標値[20歳以上]:20%)

2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度
40.6	40.3	39.2	32.8	35.3	33.5										

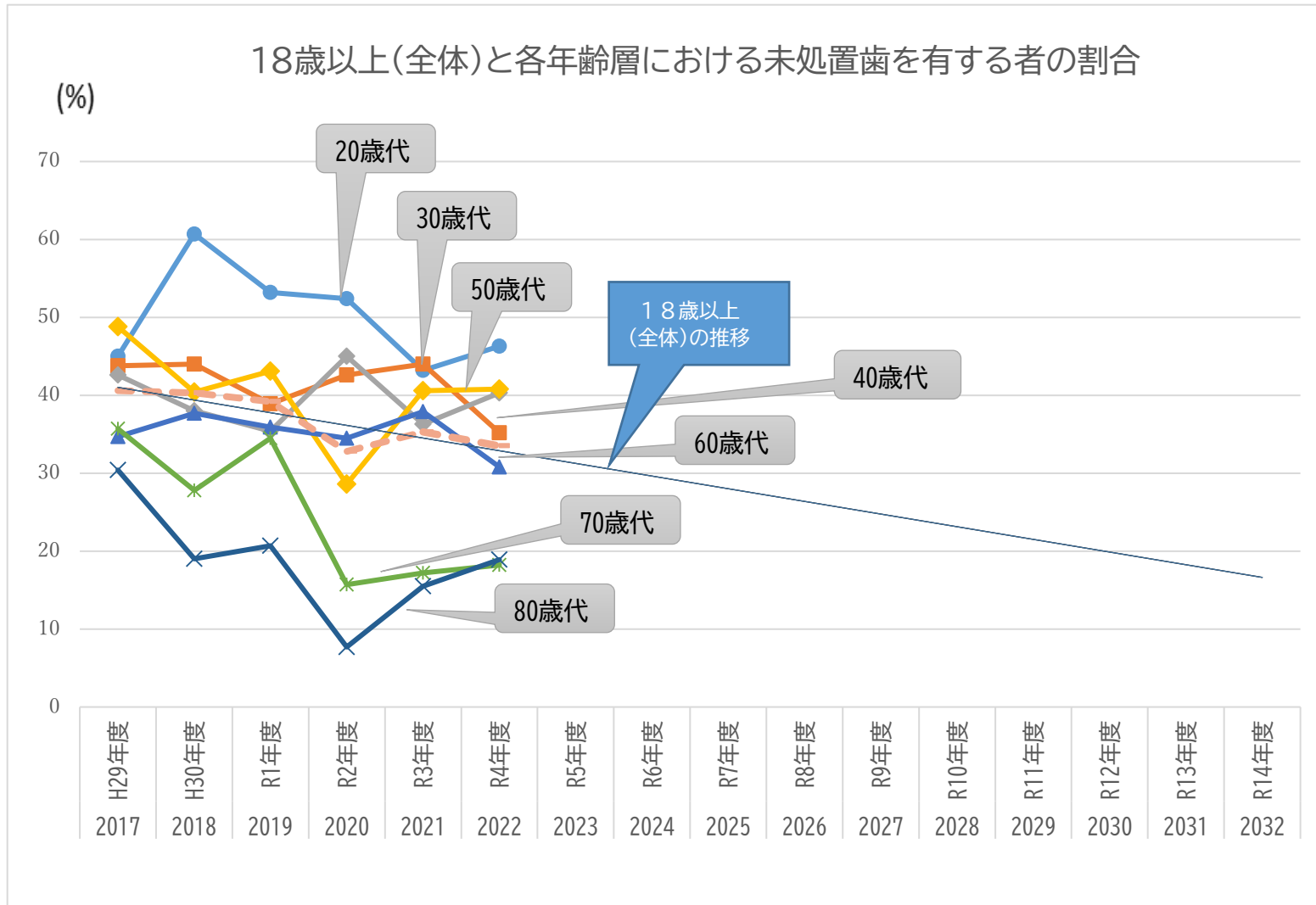


$$Y = -1.6257 * 16 + 42.64 = -26.011 + 42.64 = 16.629$$

第2次 佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画(骨子案)

(その他)各年齢層の状況

※R2年度からは75歳以上の「お口いきいき(口腔ケア)事業」のデータ数を加えての各年齢標本数となる



第2次 佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画(骨子案)

(目標)根面むし歯を有する者の減少

指標	⑤ 60歳以上における未処置歯の根面むし歯を有する者の割合
データソース	佐世保市成人歯科健診(60歳代～)
現状値	未把握 → 《令和5年度現在時点》令和4年度実績なし
ベースライン値	令和6年度実績(60歳代～)佐世保市成人歯科健診
目標値	中間評価時期に目標値の設定を予定
目標値の考え方	<p>【現 状】 直近、令和4年度までの佐世保市成人歯科健診では、未処置歯だけの把握であり、根面う蝕(むし歯)までの細分化した口腔診査は未実施であったため未把握。令和5年度より佐世保市成人歯科健診の診査項目に追加したため、次年度より把握可能となるが、直近1年間のみの実績である。</p> <p>【指標目標の設定】 指標⑤「60歳以上における未処置歯の根面むし歯を有する者の割合」については、国では指標の一つとして掲げている。本市においても、指標として掲げ、根面むし歯の把握を令和5年度から新たに、成人歯科健診を通して調査を行っているが、約半年経過している時点で、538人中9人と少なく、今後も同様の数値になると考えられるため、データとして成立するとは言い難い。 このことから、本市では、単独の指標としては掲げないが、参考として、毎年度実績値は出すようにしていく。</p> <p>(その他)◎取り組み状況で目安とするために参考資料として標記する</p>

60歳以上における未処置歯の根面むし歯を有する者の割合の減少(【参考】国の目標値:5%)

2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度
-	診査実施 開始	ベース ライン値					←【中間評価】→			目標値 設定

第2次 佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画(骨子案)

(目標)歯肉に炎症所見を有する者の減少

指標	⑥ 中学生・高校生における歯肉に炎症所見を有する者の割合
データソース	長崎県学校保健統計調査(中学生: 佐世保市教育委員会 学校保健課把握)中1~中3 (高校生: 長崎県教育委員会 体育保健課(県立高校9校)、 長崎県教育委員会 学事振興課(私立高校5校)) 高1~高3
現状値	中学生: 1.7%(R4年度実績) 高校生: 現時点、未把握
ベースライン値	令和6年度長崎県学校保健統計調査(R5年度実績)を予定
目標値	中学生:1.5% 高校生●%
目標値の考え方	直近6回(平成29年度~令和4年度)の結果をもとに、直線回帰モデルによる将来推計を行い設定する。 ただし、市内の高校生の実績について現時点未把握のため、データ収集についての検討が必要 【目標の設定】 ①市内高校生のデータ把握についての調整を行い設定する(歯科医師会と連名で各学校への依頼を行う) ②市内中学生データは公立中とし、市内高校生データは公立9校と私立5校のデータを収取して指標目標を設定する

中学生・高校生における歯肉に炎症所見を有する者の割合

市内中学生における歯肉に炎症所見を有する者の割合(Gのみ)

2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度
5.9	2.0	1.9	1.7										

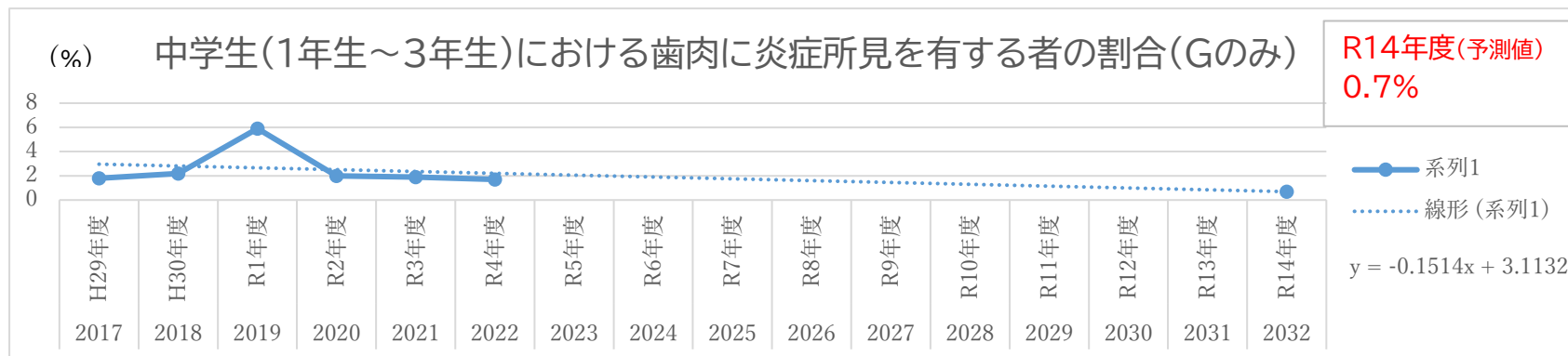
市内高校生における歯肉に炎症所見を有する者の割合(Gのみ)

2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度
													目標値設定

★現在,調整中★

第2次 佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画(骨子案)

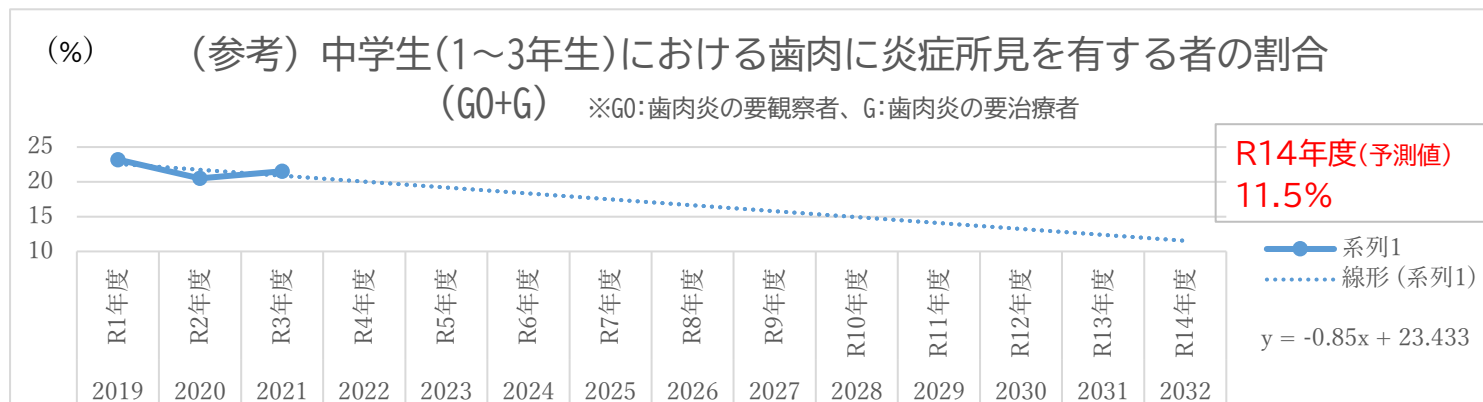
2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度
1.8	2.2	5.9	2.0	1.9	1.7										0.691



中学生(1年生～3年生)※私立を除く $Y = -0.1514X + 3.1132 = -2.422 + 3.1132 = 0.691$

市内中学生における歯肉に炎症所見を有する者の割合(GO+G)※生徒数400名を基準としての抽出データ

2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度
23.2	20.5	21.5											



第2次 佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画(骨子案)

(目標)歯肉に炎症所見を有する者の減少

指標	⑦18歳から30歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合
データソース	佐世保市成人歯科健診
現状値	60.6%(R4年度実績)佐世保市成人歯科健診より
ベースライン値	令和6年度佐世保市成人歯科健診を予定
目標値	57%
目標値の考え方	<p>直近値(現状値)はR4年度 佐世保市成人歯科健診より、18歳～30歳代の受診結果より抽出 18歳～30歳代までの受診総数は419人 (※妊産婦を除く 受診者総数 52人) 18歳～30歳代までで歯肉に炎症所見を有する者は、データ総数254人(※妊産婦を除く 35人) (データ内訳)BOP 出血あり 18歳～20歳代111人、30歳代143人 (※妊産婦を除く 18歳～20歳代14人うち12人 BOP 出血あり、30歳代 38人うち23人 BOP 出血あり)</p> <p>【本市の検討内容】</p> <p>① 本市の現時点のデータは、佐世保市成人歯科健診結果となるため、この年代層は、妊産婦歯科を目的として得られた結果が多く、指標内容に対するの偏りがあると考えられるため指標内容に「妊産婦を除く」を追記して抽出・標記していく</p> <p>②新型コロナウイルス感染症流行時期の影響等も考慮して、直線回帰モデルは前後、直近6回(平成29年度～令和4年度)を直線回帰モデルにより将来推計を行ったところ、令和14年度の推計値は57.5%であったため、近似の57%を目標値とした。</p> <p>③若年層における歯科健診の数値把握の方法については引き続き検討していく</p> <p>④国の指標では「20歳代から30歳代」における歯肉炎症所見を有する者の割合であるが、本市は成人歯科健診の対象者に合わせて「18歳から30歳代」の年齢対象を指標とする。</p>

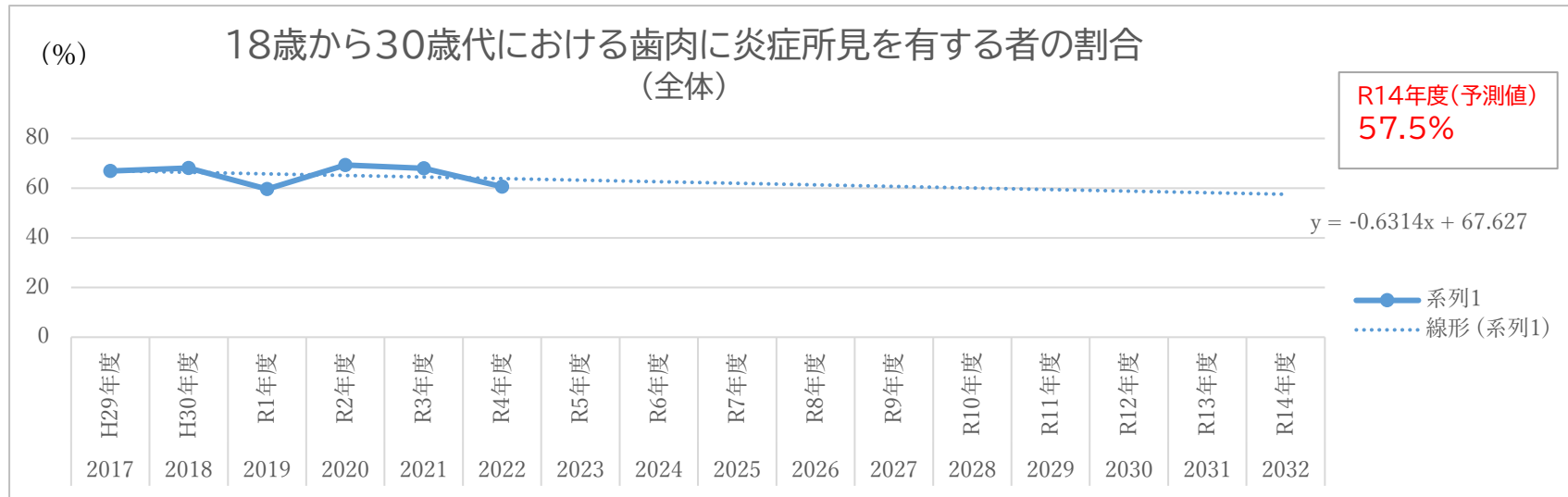
BOP 出血あり (全体)

2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度
66.9	68.1	59.6	69.3	68.0	60.6										

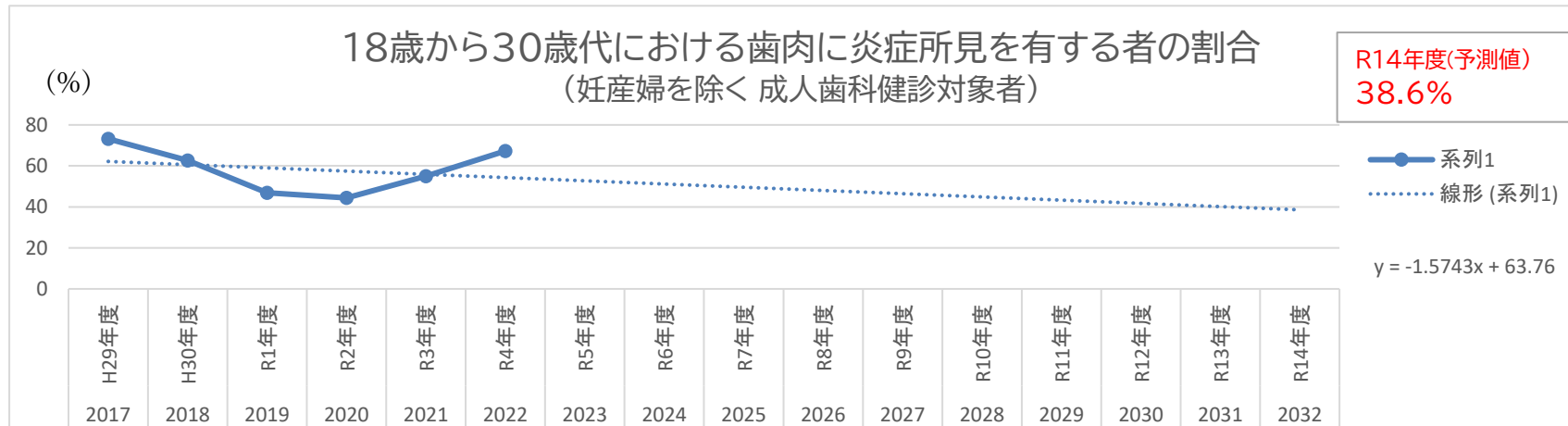
BOP 出血あり (妊産婦を除く)

2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度
73.2	62.7	46.9	44.4	55.0	67.3										

第2次 佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画(骨子案)



$$Y = -0.6314 \times 16 + 67.627 = -10.102 + 67.627 = 57.525$$



$$Y = -1.5743 \times 16 + 63.76 = -25.189 + 63.76 = 38.571$$

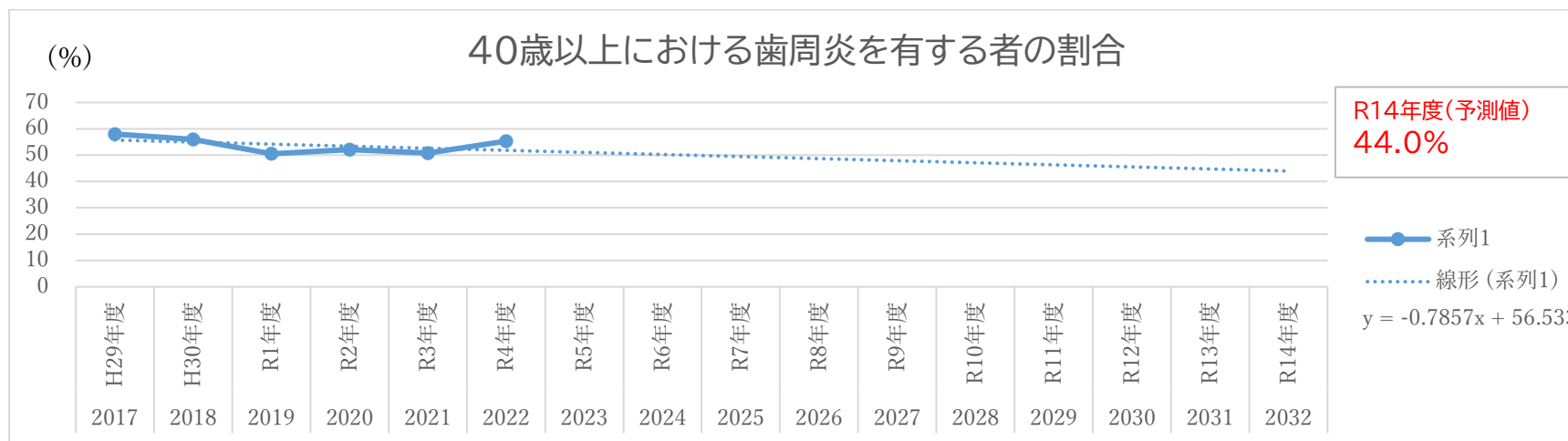
第2次 佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画(骨子案)

(目標)歯周病を有する者の減少

指標	⑧ 40歳以上における歯周炎を有する者の割合
データソース	佐世保市成人歯科健診、長崎県後期高齢者広域連合お口いきいき健康支援事業(R2年度～)
現状値	55.3%(R4年度実績)佐世保市成人歯科健診+お口いきいき健康支援事業(75歳以上)
ベースライン値	令和6年度佐世保市成人歯科健診を予定
目標値	44%
目標値の考え方	<p>【指標目標の設定】 直近6回(平成29年度～令和4年度)のからを直線回帰モデルにより将来推計を行ったところ、令和14年度の推計値は44%であったため、その数値を目標値とした。 行い設定する (その他)◎取り組み状況で目安とするために各年齢層別を参考資料として標記する</p>

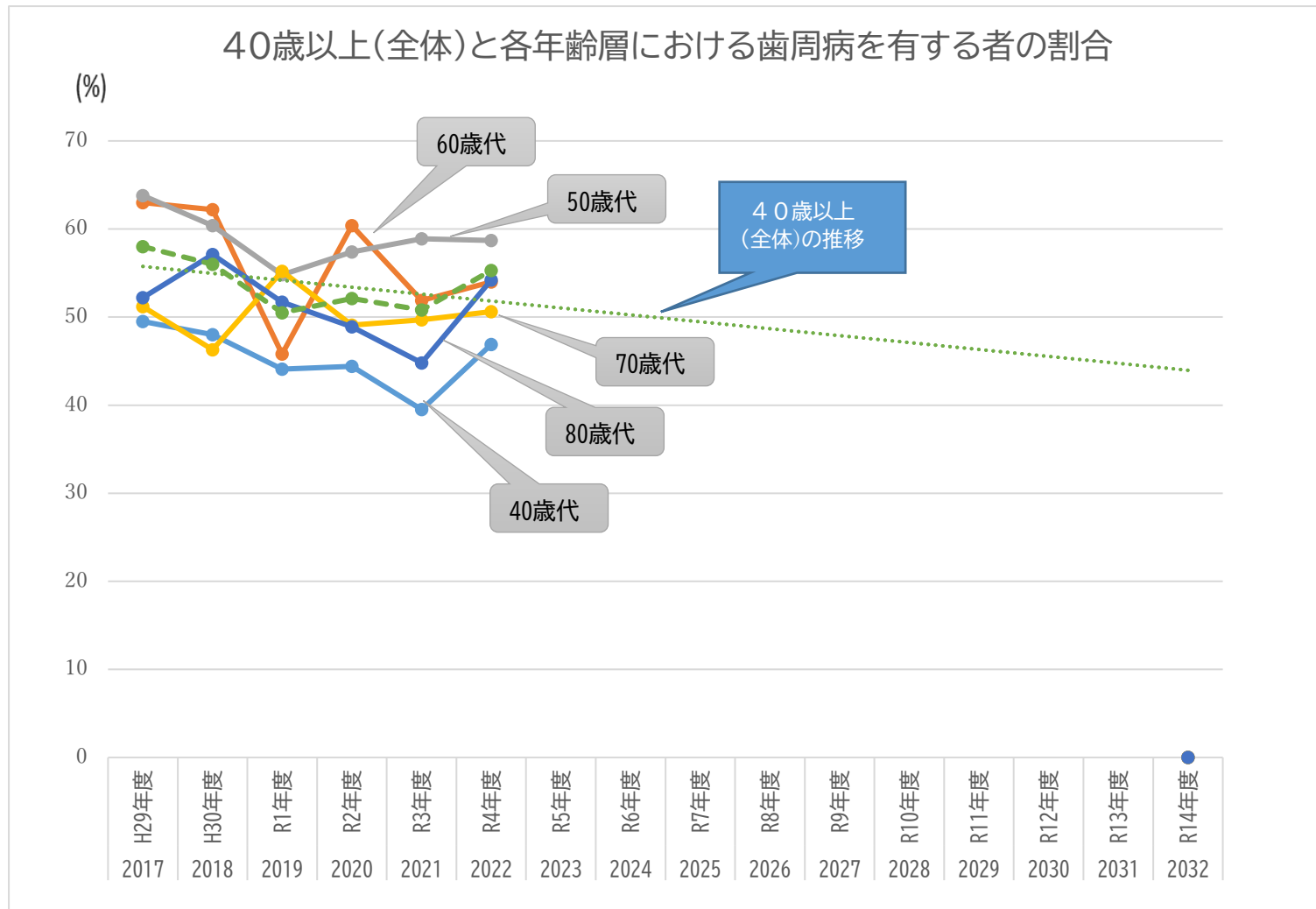
40歳以上における歯周炎を有する者の割合(国の目標値 40%)

2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度
58.0	56.0	50.5	52.1	50.8	55.3										



$Y = -0.7857 * 16 + 56.533 = -12.571 + 56.533 = 43.962$

第2次 佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画(骨子案)



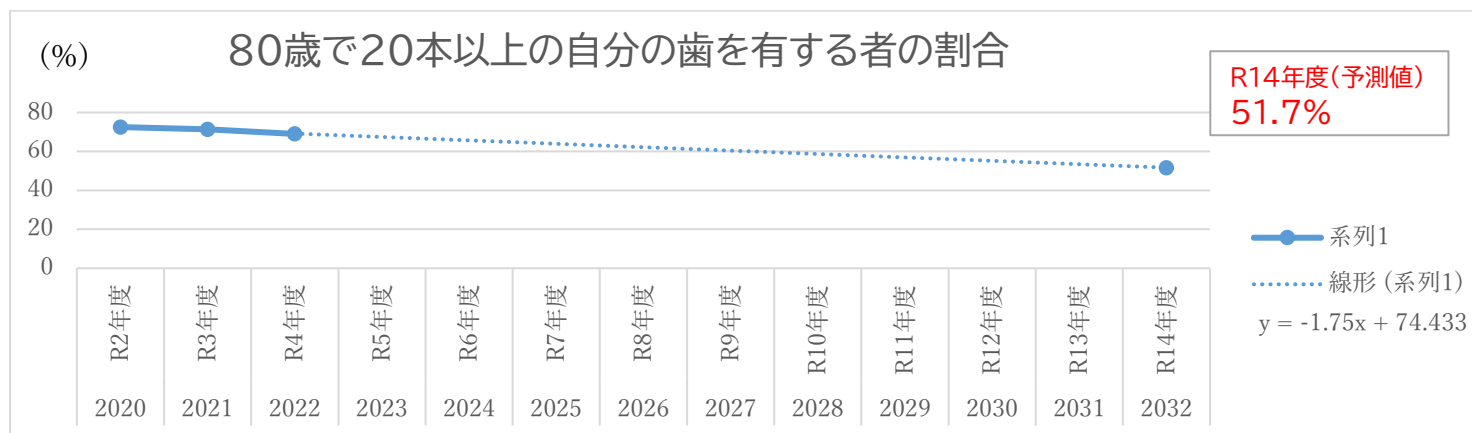
第2次 佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画(骨子案)

(目標)より多くの自分の歯を有する高齢者の増加

指標	㊟ 80歳で20本以上の自分の歯を有する者の割合
データソース	長崎県後期高齢者広域連合「お口いきいき」健康支援事業
現状値	69.0%
ベースライン値	令和5年度長崎県後期高齢者広域連合「お口いきいき」健康支援事業(R5年度実績)を予定
目標値	69%
目標値の考え方	<p>【指標目標の設定】 直近3回(令和2年度～令和4年度)の長崎県後期高齢者広域連合「お口いきいき」健康支援事業の佐世保市実績より、80歳(75歳～84歳迄)の受診結果を直線回帰モデルにより将来推計を行ったところ、令和14年度の推計値は51.7%であったため、現状維持とした。</p> <p>【本市の検討内容の決定】 県広域連合へのデータ依頼・調整をおこないながらデータソースの確保をしていく</p>

80歳で20本以上の自分の歯を有する者の割合(国の目標値:85%)

2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度
72.5	71.3	69.0										



$$Y = -1.75 * 13 + 74.433 = -22.750 + 74.433 = 51.683$$

3. 生活の質の向上に向けた口腔機能の維持・向上

(目標) よく噛んで食べることができる者の増加

指標	⑩ 50歳以上における咀嚼良好者の割合
データソース	調整中
現状値	●●.●%
ベースライン値	(R5年度実績)を予定
目標値	●●.●% 《けんこうシップさせぼ21のアンケート調査と佐世保市成人歯科健診の実績を合わせてデータ目標値の設定予定》:調整中
目標値の考え方	【佐世保市成人歯科健診より】 (データ内訳)R4年度実績 50歳以上(50歳～80歳以上まで)のデータ数 588人(男性201人、女性387人) 【本市の検討内容】 データソース先や目標値等については現在、調整中。

4. 定期的に歯科健診または歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科口腔保健

(目標) 障がい者(児)の歯科口腔保健の推進

指標	⑪ 障がい者(児)支援施設(施設入所支援)での過去1年間の歯科健診実施率
データソース	市内対象施設へのアンケート調査
現状値	42.9%(R4年度:最終評価時点)
ベースライン値	令和6年度 市内対象施設へのアンケート調査 (R6年度実績)を予定
目標値	●●.●% 《中間評価に目標値の設定予定》
目標値の考え方	令和4年度(2022年度)最終評価同様に、令和6年度の調査対象施設となる施設先へのアンケート調査を実施 【本市の検討内容の方向性】 市内対象施設へのアンケート調査内容の検討が必要

第2次 佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画(骨子案)

指標	⑫ 居宅系サービスを利用している障がい者(児)の過去1年間の歯科健診受診率・歯科受診率
データソース	勘案事項整理表(居宅サービス書式)より
現状値	48%(R4年度実績:分母に未記入を含めない)
ベースライン値	勘案事項整理表(居宅サービス書式)の調査開始時期からの実績(R5.4月～)を予定
目標値	●●.●% 《中間評価に目標値の設定予定》
目標値の考え方	勘案事項整理票の記入における認識の差や未記入(回答無し)が多い状況があるため周知、統一 【指標目標の設定】 ①R4 年度に提出された勘案事項整理票(居宅サービス書式)により受診者数を把握して受診率を算出する。

(目標) 要介護高齢者の歯科口腔保健の推進

指標	⑬ 介護老人福祉施設、介護医療院及び介護老人保健施設での過去1年間の歯科健診実施率
データソース	市内対象施設へのアンケート調査
現状値	37.0%(R4年度:最終評価時点)
ベースライン値	令和6年度 市内対象施設へのアンケート調査 (R6 年度実績)を予定
目標値	●●.●% 《中間評価に目標値の設定予定》
目標値の考え	令和4年度(2022年度)最終評価同様に、令和6年度の調査対象施設となる施設先へのアンケート調査を実施 【本市の検討内容と方向性】 ①市内対象施設へのアンケート調査内容の検討が必要 調査内容によって、現状値である37.0%も変わる可能性があり、令和6年度の現状値次第で将来推計を行い設定する。

第2次 佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画(骨子案)

(目標) 75歳以上の独居高齢者の歯科口腔保健の推進

指標	⑭ 75歳以上の独居高齢者の過去1年間の歯科健診・歯科受診者数
データソース	75歳以上で介護保険を利用していない独居高齢者の訪問時に聞き取りなどで把握
現状値	未把握
ベースライン値	75歳以上の独居高齢者訪問時に聞き取りなどで把握開始時期からの実績(R5.7月～)を予定
目標値	●●人 《中間評価に目標値の設定予定》
目標値の考え方	令和5年7月から訪問時などに聞き取りを実施し、実績を積む。その後、実績をもとに、令和6年度に現状値を把握し、目標値を設定予定。

5. 歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備

(目標) 歯科健診の受診者の増加

指標	⑮ 過去1年間に歯科健診を受診した者の割合
データソース	佐世保市民の健康に関する調査
現状値	55.1%(R4年度実績)
ベースライン値	令和6年度 佐世保市民の健康に関する調査 (R6年度実績)を予定
目標値	65.0% ※(第1次)目標値65%の最終評価 B の結果も踏まえ同目標値を設定する
目標値の考え方	【本市の検討内容と方向性】 佐世保市健康増進計画の第3次けんこうシップさせば21での佐世保市民の健康に関する調査で市民全体の歯科健診に対する動向調査の把握をおこなう

第2次 佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画(骨子案)

(目標) むし歯予防の推進体制の整備

指標	⑩ 乳幼児施設、小中学校におけるフッ化物洗口実施施設
データソース	乳幼児施設、市立小中学校における実施施設
現状値	乳幼児施設(保育所、認定こども園、幼稚園)77.5%(R4年度実績)、小学校・中学校 100%(R4年度実績)
ベースライン値	令和6年度 乳幼児施設、小中学校におけるフッ化物洗口実施施設アンケート調査 (R6 年度実績)を予定
目標値	乳幼児施設 80%・小中学校 100% ※目標値は第1次の目標と同じとする
目標値の考え方	令和6年度の調査対象施設となる乳幼児施設、市立小中学校における実施施設へのアンケート調査が従来通りに必要となる。 【本市の検討内容と方向性】 長崎県国保・健康増進課の県内状況調査の動向をみて検討を図る(調査基準日:例年8月1日現在)